

一見の価値 あると思います。
うわさのシロモノー USHIO のフィラメント電球 “Let”



個人的に楽しみにしていたものの一つ。
うわさでは皆様もご存じかと思う。
「もう見飽きました」と言いたくなるほどエジソンベースのLEDは生まれているが、シャンデリアやボール球の「代用」と呼べるレベルだと言っても過言ではないのではないだろうか…
ぼやかしたゆめめだが、買うか使うかは別として一見の価値は あると思います。
写真では伝わらない、これこそ「光ってなんぼ」なランプだ。
(サンプル[有償]ご希望の方は弊社まで!!)

ウシオライティング株式会社は、電球型 LED ランプ「LED フィラメント電球」を完成させ、12月25日(木)からサンプル出荷を開始。
「LED フィラメント電球」は、LEDを従来型白熱電球の発光部分と同様なフィラメント状に搭載したもので、光源部分に蛍光体の調合技術と、独自のLEDマウント方式を採用し、光の色やランプ形状を従来型の白熱電球(装飾電球)に近づけるだけでなく、透明かつクラシックなガラスバルブを採用したもの。

従来型白熱電球(装飾電球)10Wクラスの見た目での明るさと印象を兼ね備えています。
また、省エネ、環境負荷低減という観点では、ランニングコストは5Wクラスの白熱電球(装飾電球)と比較して、約1/9の消費電力と約10倍の長寿命を達成したことで、CO2の排出量や電気代を大幅に低減。

製品バリエーションとして、定格電圧は100V、ランプ形状はグローブ球とシャンデリア球の2種、口金形状はE17、E12。

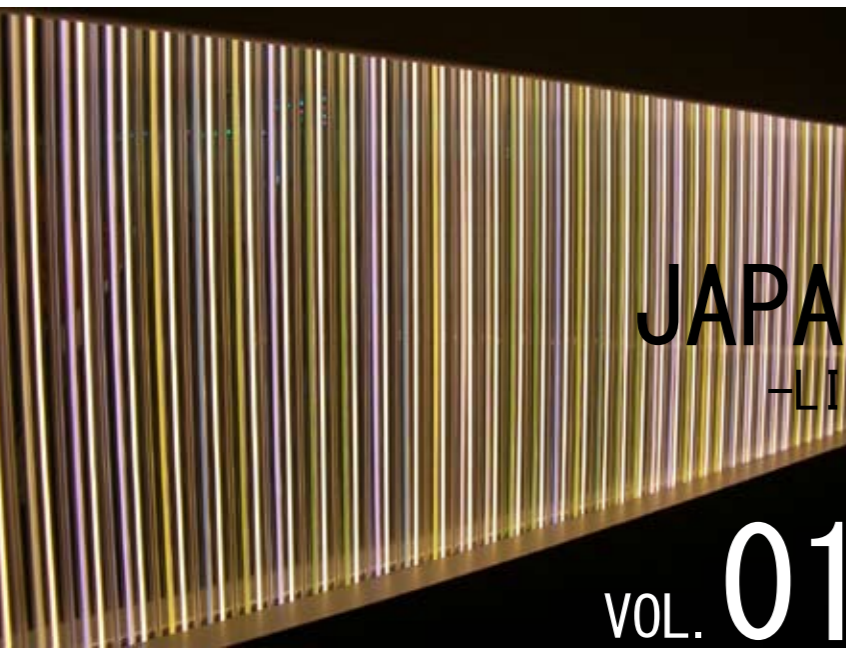


残念ながら USHIO ブースでの写真撮影はNG。こればかりは現物を見て欲しい。

■LED フィラメント電球 “Let” 主な仕様■

- 定格電力 0.6W
- 定格電圧 100V
- 全光束 18 lm
- 発光効率 30 lm / W
- 定格寿命 20,000 時間
- 色温度 2500K
- 口金タイプ E12, E17
- ガラス形状 C32, G40, G50

[USHIO ホームページより引用]



株式会社 ジャパンライティング
〒650-0025
兵庫県神戸市中央区相生町 4-8-22
TEL/078-382-0066 FAX/078-382-0075

このたびジャパンライティングでは、皆様により新鮮な情報をお知らせ、ご提案できることを目指し、ランプと照明の製品情報等を発信するニュースペーパーの発行を試みます。
その第一弾として、3月3日から6日までの4日間、東京ビッグサイトで開催されました「ライティング・フェア2009」の中から、注目の商材をピックアップしてご紹介させていただきます。
箱に入った商品としてランプを扱うことの多い私たちですが、光って初めて「ランプ」になるのです。そんな素材としての姿を、ランプ・照明専門商社として皆様にお届けさせていただければと思います。

「光ってなんぼ」
な
ランプたち
— あいさつ —



- PARATHOM A55 主な仕様 ■
- 定格電力 8W
- 定格電圧 100V
- 全光束 350lm
- 全光束 25,000時間
- 色温度 3000K (電球色)
- 口金タイプ E26

パラトンの進化形が出ると聞きつけ三菱PARATHOMは電球型蛍光灯と一緒に比較展示BOXで点灯していた。LEDの持つ「ほの暗さ」ではなく電球形蛍光灯に近い印象。40W形には一歩劣るものとなっている。従来は左の写真のように装飾やディスプレイ向きなものであったが、こちらは光源として使用可能な域になっており、家庭でもトイレなどでは実用的だと言えそうだが、今回は参考出品として展示されていたが、同じ参考出品の商品としてDOTLIGHTの新バージョンも何種類か登場し、来客の好奇心を刺激していた。

三菱電機 OSRAM
PARATHOM 40W 進化形

PARATHOM A55

— LEDよりNEC — が気になります。
NEC 冷陰極管アプローチ

「どこもかしこもLED…」なライティングフェア初体験の私にとってNECブースは少し新鮮だった。ブース内に冷陰極の展示スペースを大胆に大きく配置。上の写真もその一部。電球色と白色の冷陰極(写真ではカラフルに写っているが…)を交互に点灯させる見せ方もシンプルながら冷陰極ならではの効果的なディスプレイであったと思う。

NECライティングは冷陰極管(CFL)を光源に使った建築用照明器具を開発、「プラスCライン」シリーズとして今月発売する。液晶テレビのバックライトに使うCFL光源の製造技術を応用。面発光ができ、寿命が長いのも特徴。液晶バックライト用の直径4ミリのランプを使い、長さ60センチ、90センチの2タイプを発売。消費電力はそれぞれ14Wと18W。昼光色、昼白色、電球色があり、計6機種の品ぞろえとする。明るさはそれぞれ15W、20Wの蛍光灯と同程度の明るさ。光源自体の寿命は約60,000時間で、蛍光灯の3~4倍。LEDを使った照明器具とほぼ同じという。一般的な20W型の蛍光灯器具に比べ、断面積が約7割小さくなるため従来設置が難しかった狭い場所でも、壁や床面に組み込むことができる。価格は、10,000~20,000円になるとみられる。
[産経新聞より引用]

■発売情報・・・「プラスCライン」シリーズとして3月発売予定■

NEC Empowered by Innovation



実際発売になるこちらの商品は二灯一組。なんで一灯にしなかったの…と文句言ってしまった…。



食品にはHIDやLED、ショップにはノルディックライト、ホテルやレストランのインテリアには“あかりたいむ”シリーズと、多様化するニーズに答える商品群を排出するそのココロは、エコとユーザーに優しい照明を忠実に実現しようとする熱意なのではと感じた。本当に照明が好きなんだろうな —

BEST OF BOOTH... “PHILIPS”

■個人的な趣味で今回もっとも思い出に残ったブースはPHILIPSでした。



LEDを優れたデザイン性、機能性をもってバランス良く使用。テイストの違う展示空間を効果的に演出している。中央は、調光で白色と電球色のLEDをクロスフェードさせてライトアップされた幾重ものオーガンジー。LEDの硬質な光でこんなにも柔らかく素材を魅せることが出来るのか…と感動。

OKAMURA®
Heart of Lighting



遂に出ました。この演色性!(伝わりにくい!)
食品別に3種類、業種別に3種類の計6種類のラインナップ。
しかも驚くなかれ調光可能!
実際にやってみた…驚異的。

にんじんにんじん色、
お魚はお魚色、お肉はお肉色 —
岡村カラーはLEDにも顕在です。



皆様は岡村電産の赤坂ショールームには行かれたでしょうか。岡村といえばスーパーなど食品に特化したHIDやハロゲンのメーカーというイメージがあり、赤坂ショールームだけでもドギモを抜かれたが、近頃の岡村電産はそんな私をどんどん追いついて行ってしまうほど振興勢力を伸ばし続けている。そのエナジーの源は? ショールームに行けば分かります —

- 地下鉄「赤坂見附駅」下車
- ベルビー赤坂口より徒歩2分
- 詳しくは岡村電産ホームページで



OKAMURA の概念をくつがえす新製品が続々!!
この精神こそが OKAMURA そのものです —

nordic light

展示ブースでは早速、新製品ノルディックライト社のHIDスポット器具が活躍。このクリップ形は某大型輸入家具店でも採用されています。まさに展示会には最適です。



岡村がインテリア照明!?
今回ブースを占拠していたのはおしゃれなスタンドライトの数々!
しかも安い!!
ほんとに安いのです…!
有名器具メーカーじゃ高い、けどデザインは重視したい、そんなニーズにマッチする照明器具を出したい —
それが岡村社長のお言葉でした。「岡村っぽくない」その精神こそが岡村っぽさそのものなので —
■5月中旬発売予定。
商品数も今後増える見込み。